



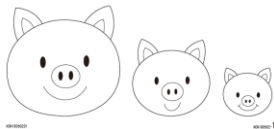

# 2歳児クラス 5月 第2回 「ぶたさんいっかの やまのぼり」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「ほいさかさっさ こんにちはー」と絵本の表紙を見せながら登場。「これから山登りに行くんだ」とリズムカルな口調で講師と会話。</li> <li>講:「ブタさん一家」に興味を持てるように会話を広げブタさんを送り出し、山登りへの期待感を持たせてスタートさせる。</li> </ul>	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> </ul>	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>①前半は、ひたすら頂上を目指して行くブタさん一家の気持ちが伝わるように軽快なリズムで読み進める</li> <li>②後半は、リズムをがらりと変えて、景色を楽しみながらゆっくりのんびり降りてくる様子が伝わる様に読み進める。</li> <li>③読み終わった後「リュックサックの中になんが入ってた?」「途中の景色は何が見えた?」など質問し内容を確認して活動①へと進む。</li> </ul>	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 絵本を持って登場。講師と会話する</li> </ul>	

## かくしゅうタイム

活動①	比較①	大中小の大きさの違いを理解してカードを選び、貼ることができる	
設問	ブタさん一家、それぞれに合う帽子を被せてあげましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「慌てて登ったブタさん一家。帰る時はゆっくりのんびり、いろんなもの発見できて良かったね。あれあれ…誰か来たよ」</li> <li>保:「ほいさかさっさ…すみません」とプリント提示。</li> </ul>		P1
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「あら、ブタさん、どうしました?」</li> <li>保:「すみません。このへんで帽子を見ませんでしたか?」とプリントを講師に渡す。</li> <li>講:「帽子ね…あ!これかな?」と大中小の帽子カードを提示。</li> </ul>		P1用大中小帽子カード1人各1枚(両面テープ付)
	<p><b>数にチャレンジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講:「ブタさんが何匹いるかな?数えてみよう。一本指ぴっ! 1・2・3(指さし確認)…全部で3。帽子の数は…」とブタの数と帽子の数を子ども達と一緒に数える。 ※それぞれ「3個」で一致していることを確認する。</li> </ul>		皿(テーブルごみ用)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「帽子の数は同じでも大きさが違うね」と大きさの比較の見本行動。一番大きい帽子を一番小さいブタに被せ、「見えない見えない!大き過ぎるね」など間違い行動をオーバーアクションで強調。楽しく理解させていく。「大きい・小さい…これは?」と問いかけ「中くらい」の比較のことばも伝える。両面テープを剥がし「ぴったんこ」と貼る(シールごみは皿の中)。「まだこんなに帽子探しているブタさんがいるよ」「みんなもぴったんこ見つけてあげられるかな?やりたい人」と意欲的に活動に参加させる。</li> <li>保:プリント、カードを配布。</li> <li>子:見本同様、数にチャレンジ。大中小「比べっこ」比較行動を充分楽しんでから、ぴったりの帽子を被せていく。</li> <li>講:全員貼れたところで見せ合う。称賛。 「ブタさん一家、また山登りに行くんだって。慌てないでね。行ってらっしゃい」とプリント回収し&lt;活動②&gt;へ進む。</li> </ul>		保育士の役割
活動②	比較②	大中小の大きさの違いを理解してシールを選び、貼ることができる	
設問	おにぎりの大きさに合う梅干しを選んで貼りましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「ブタさん一家がお礼におにぎり弁当作ってくれました」とプリント提示。</li> </ul>		P2
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「ありがとう!美味しそう」とプリントを受け取る。&lt;活動①&gt;同様大きさの比べっこ。「大きい・小さい…これは?」と問いかけ「中くらい」の比</li> </ul>		P2用大中小シール1人各1枚(★クレヨン)

<p>較のことばを引出し、確認。「みんなの分もありますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保：「みんなの分もありますよ」とプリント提示・配布。</li> <li>講：「でも寂しいね、中に何も入ってないね…何かいいものないかな？」</li> <li>保：「これはいかが？」と3種のシール（梅干し）を提示。</li> <li>講：「ありがとう。梅干し大好き」※「味見」と称し酸っぱい顔で興味を誘う。</li> </ul> <p><b>数にチャレンジ</b>・講：＜活動①＞同様「おにぎり」と「梅干し」の数を数える。 ※数がそれぞれ「3個」で一致していることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講：「一番大きいおにぎりには一番大きい梅干し」「一番小さい…」「これは？そう、中くらいの…」と比較行動入れながら順番に梅干しシールを貼る見本。貼るときは「真ん中にべったんこ」と位置も意識して貼る。「みんなも梅干し入れる？欲しい人、はい！」意欲的に活動に参加させる。</li> <li>保：シール配布。</li> <li>子：シールの数を確認してから、大きさの比較行動。ぴったりのシールを貼っていく。（シールごみは皿に入れる）</li> <li>講：貼れたことを確認。称賛。「みんなで食べようか？いただきます」「一番大きいおにぎり酸っぱいねー」「中くらいは？」「小さいおにぎりは、ちょっと酸っぱい」など味覚の会話を楽しみ「美味しかったね、ごちそうさまでした」でプリントを回収し活動を終了する。 ※時間に余裕がある場合はクレヨンを準備し「ごましお振って、もっと美味しくしよう」などと、タッピングを入れても良い。</li> </ul>	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プリント提示</li> <li>シール提示</li> <li>プリント、シール」配布</li> <li>大中小比較の理解度確認、必要に応じて個別指導</li> <li>称賛</li> <li>子どもと一緒に味覚行動</li> <li>プリント、ごみ用皿回収</li> </ul>
---	--

<p><b>数チャレ</b></p>	<p>ねい <b>数</b></p>	<p>大きさの違う「ぶた」「おにぎり」を数える</p>	<p>教材</p>
<p>設問</p>	<p>①ブタさんと帽子の数を数えてみよう（3匹・3個） ②おにぎりと梅干しの数を数えてみよう（3個）</p>		
<p>内</p>	<p>※＜活動①②＞の中で実施。</p>		<p>保育士の役割</p>

■出来たかな表

<p>【活動内容】</p>	<p>【ポイント】</p>
<p>シアター</p>	<p>下りのぶたの行動に繋がられるよう、上りのぶたの場面を記憶出来るように意識して読んだか</p>
<p>活動①比較(帽子)</p>	<p>三者の比較で「中くらい」が子どもの口から出るように促すことが出来たか</p>
<p>活動②比較(おにぎり)</p>	<p>三者の比較で「中くらい」が子どもの口から出るように促すことが出来たか</p>
<p>数チャレ</p>	<p>活動①②</p>

**楽習タイム♪**

\*\*\* テーマ・比較 \*\*\*

**くらべっこ遊び②**

4月の二者の比べっこ（大小・長短・多少・高低）に続いて今回は、大中小三者の比較にチャレンジです。  
比べ方のポイントは全部で4つ…

①比べるのは同じ種類のもの  
②並べて（揃えて）比べる  
③子どもにとって身近なものや魅力あるもので比べる  
④「中くらい」のことばの理解

一番大きいのは？  
一番小さいのは？  
中くらいはどれ？



三者を比較する中で「中くらい」のことばを知り、理解を深めることがポイント！いっぱい使ってみましょう。

**今月のえかきリズム**

\*\*\* × ロ ン \*\*\*



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

